



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月9日

上場会社名 株式会社 リケン 上場取引所 東
 コード番号 6462 URL <http://www.riken.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前川 泰則
 問合せ先責任者 (役職名) 業務管理部経理室長 (氏名) 大橋 卓也 TEL 03-3230-3911
 四半期報告書提出予定日 2022年2月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期第3四半期 | 58,590 | 19.8 | 4,478 | 735.6 | 5,500 | 179.6 | 3,231 | 148.2 |
| 2021年3月期第3四半期 | 48,924 | △21.8 | 535 | △85.2 | 1,967 | △55.9 | 1,302 | △56.4 |

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 5,337百万円 (492.7%) 2021年3月期第3四半期 900百万円 (△48.7%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期第3四半期 | 323.69 | 322.89 |
| 2021年3月期第3四半期 | 130.97 | 130.55 |

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2022年3月期第3四半期 | 115,642 | 84,330 | 68.0 | 7,861.91 |
| 2021年3月期 | 110,544 | 80,142 | 67.7 | 7,507.92 |

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 78,641百万円 2021年3月期 74,804百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期 | — | 35.00 | — | 55.00 | 90.00 |
| 2022年3月期 | — | 60.00 | — | — | — |
| 2022年3月期(予想) | — | — | — | 60.00 | 120.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 77,000 | 10.4 | 4,700 | 72.3 | 5,900 | 36.5 | 3,600 | 91.4 | 361.88 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、上記の連結業績予想は、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2022年3月期3Q | 10,648,466株 | 2021年3月期 | 10,648,466株 |
| ② 期末自己株式数 | 2022年3月期3Q | 645,644株 | 2021年3月期 | 685,072株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2022年3月期3Q | 9,984,195株 | 2021年3月期3Q | 9,943,474株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |
| (会計方針の変更) | 7 |
| (会計上の見積りの変更) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(日本、インドは4月～12月、それ以外は1月～9月)における世界経済は、依然として新型コロナウイルス感染症の影響が続いておりますが、各国の経済対策やワクチン接種の普及により、原材料価格の高騰や物流網の混乱などの影響があったものの、総じて経済活動は緩やかな回復が継続しました。

わが国経済においては、個人消費や設備投資が改善し、経済は緩やかな回復基調で推移しましたが、足元では新たな変異株の発生により感染が再拡大しており、先行きについては依然として不透明な状況となっております。

当社グループと関連の深い自動車産業は、国内では第2四半期以降の半導体不足やサプライチェーン混乱等の影響で前年同期に比べ減産となり、回復基調は急速に鈍化しました。海外においても、各地域で半導体不足や新型コロナウイルス感染症の影響などにより、総じて生産台数の回復は若干の増加に留まりました。

このような状況のなか、当第3四半期連結累計期間における当社グループ売上高は、半導体不足による生産調整等があったものの、厳しい状況であった前年同期からは大幅に回復し、58,590百万円(前年同期比19.8%増)となりました。利益面では、原材料費の高騰の影響等があったものの、売上の増加に加え合理化を含む労務費・経費の削減効果などにより、営業利益は4,478百万円(前年同期比735.6%増)、経常利益は5,500百万円(前年同期比179.6%増)と大きく回復しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、海外関係会社の留保利益に関わる繰延税金負債を計上したことにより3,231百万円(前年同期比148.2%増)に留まりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は115,642百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,097百万円増加しました。これは、現金及び預金が増加したこと等によるものです。

負債につきましては、31,311百万円となり、前連結会計年度末に比べ909百万円増加しました。これは、長期借入金が増加したこと等によるものです。

純資産につきましては、利益剰余金が増加したこと等により84,330百万円と前連結会計年度末に比べ4,188百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績等を考慮し、2021年5月14日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正しました。詳細については、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 12,612 | 16,335 |
| 受取手形及び売掛金 | 20,396 | — |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | — | 20,458 |
| 商品及び製品 | 8,667 | 9,689 |
| 仕掛品 | 3,595 | 3,140 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,398 | 3,156 |
| その他 | 1,135 | 1,841 |
| 貸倒引当金 | △38 | △44 |
| 流動資産合計 | 48,766 | 54,578 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 10,770 | 10,570 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 12,152 | 12,069 |
| 土地 | 2,634 | 2,584 |
| 建設仮勘定 | 1,885 | 1,231 |
| その他(純額) | 1,231 | 1,130 |
| 有形固定資産合計 | 28,674 | 27,586 |
| 無形固定資産 | | |
| リース資産 | 2,461 | 2,158 |
| その他 | 552 | 480 |
| 無形固定資産合計 | 3,014 | 2,639 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 21,954 | 22,945 |
| 繰延税金資産 | 1,297 | 1,146 |
| 退職給付に係る資産 | 5,766 | 5,680 |
| 保険積立金 | 58 | 58 |
| その他 | 1,043 | 1,036 |
| 貸倒引当金 | △30 | △29 |
| 投資その他の資産合計 | 30,089 | 30,838 |
| 固定資産合計 | 61,778 | 61,063 |
| 資産合計 | 110,544 | 115,642 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 9,608 | 9,614 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 7,000 | 7,000 |
| 未払法人税等 | 562 | 455 |
| 賞与引当金 | 1,588 | 972 |
| その他 | 5,786 | 4,920 |
| 流動負債合計 | 24,546 | 22,962 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,000 | 4,460 |
| 退職給付に係る負債 | 1,498 | 1,663 |
| 製品保証引当金 | 302 | 288 |
| 環境対策引当金 | 12 | 12 |
| その他 | 1,042 | 1,924 |
| 固定負債合計 | 5,855 | 8,348 |
| 負債合計 | 30,402 | 31,311 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 8,573 | 8,573 |
| 資本剰余金 | 7,119 | 7,119 |
| 利益剰余金 | 61,411 | 63,428 |
| 自己株式 | △3,074 | △2,894 |
| 株主資本合計 | 74,030 | 76,226 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 501 | 951 |
| 繰延ヘッジ損益 | △12 | △21 |
| 為替換算調整勘定 | △2,066 | △529 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 2,351 | 2,013 |
| その他の包括利益累計額合計 | 774 | 2,414 |
| 新株予約権 | 120 | 97 |
| 非支配株主持分 | 5,217 | 5,592 |
| 純資産合計 | 80,142 | 84,330 |
| 負債純資産合計 | 110,544 | 115,642 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) |
|---------------------------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 売上高 | 48,924 | 58,590 |
| 売上原価 | 39,785 | 45,088 |
| 売上総利益 | 9,138 | 13,502 |
| 販売費及び一般管理費 | 8,602 | 9,024 |
| 営業利益 | 535 | 4,478 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 288 | 373 |
| 為替差益 | — | 21 |
| 持分法による投資利益 | 405 | 652 |
| 生命保険配当金 | 136 | 112 |
| 助成金収入 | 442 | 18 |
| その他 | 477 | 150 |
| 営業外収益合計 | 1,750 | 1,328 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 76 | 73 |
| 為替差損 | 64 | — |
| その他 | 178 | 232 |
| 営業外費用合計 | 318 | 305 |
| 経常利益 | 1,967 | 5,500 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 418 | 571 |
| 投資有価証券売却益 | 4 | 13 |
| 特別利益合計 | 423 | 584 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 39 | 28 |
| 工場休止損失 | 90 | — |
| 減損損失 | 160 | — |
| 特別損失合計 | 291 | 28 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,100 | 6,057 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 749 | 1,030 |
| 法人税等調整額 | 159 | 1,618 |
| 法人税等合計 | 908 | 2,649 |
| 四半期純利益 | 1,191 | 3,408 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △110 | 176 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,302 | 3,231 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) |
|------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 四半期純利益 | 1,191 | 3,408 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,103 | 479 |
| 繰延ヘッジ損益 | 6 | △11 |
| 為替換算調整勘定 | △744 | 1,692 |
| 退職給付に係る調整額 | △92 | △383 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △564 | 152 |
| その他の包括利益合計 | △291 | 1,929 |
| 四半期包括利益 | 900 | 5,337 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,239 | 4,871 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △339 | 465 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、従来は一時点で収益を認識していた子会社の一部収益に関して、一定の期間にわたり収益を認識する処理への変更等を行っております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、収益認識会計基準等の適用による、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表への影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。